

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲載ページ
本 部	5月29日(火)	第59回通常総会 映画会 第9回水工学に関する夏期研修会	東 京 土 木 学 会 大 阪 市	本号本文 112 ページ
	6月9日(土)			本号本文 113 //
	7月25日(水) ~8月2日(木)			本号本文 114 //
東 北 支 部	6月7日(木)	昭和48年度東北支部総会	仙 台 市	本号本文 119 //
中 部 支 部	6月25日(月)	第1回見学会	天 竜 市	本号本文 119 //
関 西 支 部	5月16日(水)	第46回 関西支部通常総会	大 阪 市	4月号本文 142 //
	5月23日(水)	学生見学会	近 畿 地 方	4月号本文 151 //
	6月1日(金)	昭和48年度年次学術講演会	大 阪 市	4月号本文 143 //
	6月7日(木) ~8日(金)	第1回見学会	兵 庫 県	4月号本文 150 //
	6月21日(木) ~22日(金)		「破壊力学とその応用に関する」講習会	大 阪 市
中国四国支部	5月24日(木) ~25日(金)	支部総会, 特別講演会, 年次学術講演会	松 江 市	本号本文 121 //
お 知 ら せ	<ul style="list-style-type: none"> ■土木学会昭和48年度全国大会・第28回年次学術講演会 ■関東地震50周年記念地震工学シンポジウムの開催のお知らせ ■“地震応答解析と実例”お求めの方へ ■第20回海岸工学講演会講演募集 ■第10回衛生工学研究討論会のお知らせ ■Trans. of JSCE 頒布について ■第4回 岩の力学国内シンポジウム講演募集 ■「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集 ■第21回レオロジー討論会講演募集 ■第17回材料研究連合講演会講演募集 ■第23回応用力学連合講演会講演募集 ■第2回岩の力学講演会前刷集出版頒布のご案内 ■土木学誌広告料金について 			本号本文 112 // 本号本文 112 // 本号本文 112 // 本号本文 113 // 本号本文 113 // 本号本文 113 // 本号本文 113 // 本号本文 114 // 本号本文 114 // 本号本文 116 // 本号本文 117 // 本号本文 118 // 本号本文 118 // 本号本文 119 //

支 部 所 在 地

- 北海道支部：郵便番号 060・札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階（電 011-251-7038, 261-7742）
- 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町 18-25・丸七ビル3階（電 0222-22-8509）
- 関東支部：郵便番号 180・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内（電 03-351-4133）
- 中部支部：郵便番号 460・名古屋市中区栄2丁目 17番22号・科学館内 中部科学技術センター
（電 052-231-3043）
- 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号
（電 06-271-6686）
- 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町 10番3号・自治会館内（電 0822-21-2666）
- 西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号（電 092-78-3716）

第 59 回通常総会のお知らせ <於東京>

▶ 5 月 29 日 (火) ◀

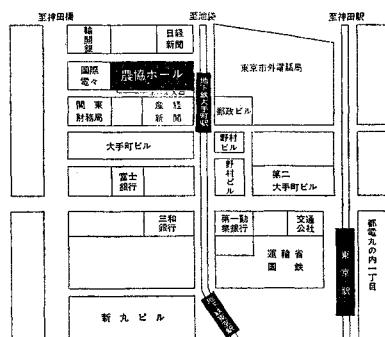
昭和 48 年度通常総会は、下記のとおり東京において開催致しますのでお知らせします。

1. 日 時：昭和 48 年 5 月 29 日 (火) 13.30~18.00
2. 場 所：農協ホール（千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9 階）（地下鉄丸の内線大手町駅淡路町寄り改札口より農協ビル地下 1 階に直結しております）
3. 総 会：13.30~15.00

事業報告
 決算報告
 名誉会員の推挙
 土木学会賞の授与
 新役員の紹介

4. 特別講演：15.00~16.00 国土開発の方向について 建設事務次官 坂野重信
5. 懇親会：16.15~18.00 農協ビル 8 階第 2 大会議室（会費 1500 円）

<会場略図>



土木学会昭和 48 年度全国大会・第 28 回年次学術講演会

土木学会昭和 48 年度全国大会・第 28 回年次学術講演会は下記のとおり札幌市で開催することになり、講演申込みは 5 月 10 日で締切りました。講演申込みを行なった方は期日までに講演原稿をご提出下さいますようご案内いたします。

1. 実施期日：昭和 48 年 10 月 1 日 (月), 2 日 (火), 3 日 (水)
2. 実施場所：北海道大学（札幌市北区）
3. 原稿提出期限：昭和 48 年 6 月 25 日 (月)
4. 原稿提出先：土木学会本部内全国大会講演概要集係（160 東京都新宿区四谷一丁目）
5. その他：執筆規定、原稿用紙などが大幅に変更になっておりますので詳細は学会誌 4 月号 157~158 ページをご参照下さい。

関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウム ▶8 月 31 日 (金)~9 月 1 日 (土) ◀

本年は関東地震の 50 周年にあたりますので、50 周年を記念すると同時に地震工学の今後の発展に資すべく記念シンポジウムを催すことになりました。今回のシンポジウムは従来の国内シンポジウムと変わり、現在地震工学の新しいテーマのうち 3 つを選び、これに関する論文発表と、地震工学の過去からの発展と将来の展望についての二、三の特別講演を企画しました。

今回のシンポジウムの開催に当っては、海外研究者の有志にも参加できるように国内と同時に国外にも開催、論文募集の発表を行ない、研究情報交換の場とすると同時に 50 周年記念シンポジウムを有意義なものにしたいと考えております。会員各位の多数の参加を期待します。

主 催：地震学会・土質工学会・土木学会・日本建築学会

1. 日 時：1973 年 8 月 31 日 (金), 9 月 1 日 (土)
2. 場 所：東京（決定次第お知らせします）
3. シンポジウムの内容：論文の募集は締切りました。決定次第お知らせします。

“地震応答解析と実例” お求めの方へ

本年 2 月に刊行しました“地震応答解析と実例”に誤りがありましたので正誤表をつくりましたので必要の方ははがきで下記へご連絡下さい。

連絡先：160 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会刊行物頒布係

映画会開催について

▶ 6月9日(土)◀

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
 2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00～ 6月は9日（土）です。
6月は、次の映画を予定しております。
 3. 上映作品：「みんなの下水道」 大阪府提供
「土石流」 建設省提供
「変 貌」 日本セメント（株）提供
なお、上映映画は都合により変更することがございますので、あらかじめご了承ください。
 4. 参加費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。
本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。
- 共 催：土木学会関東支部

第20回 海岸工学講演会講演募集

第20回海岸工学講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方は講演募集要項をご参照のうえご応募下さい。なお締切期日に遅れたものは受付られませんのでご注意ください。

1. 開催期日：1973年11月14日（水）、15日（木）
2. 場 所：第1会場：愛知県産業貿易会館4階第1会議室（名古屋市中区丸の内3丁目1番6号）
第2会場：愛知県婦人文化会館講堂（名古屋市中区三の丸1丁目2番地）
3. 講演申込締切：1973年5月31日（木）必着
4. 講演原稿締切：1973年7月16日（月）必着
5. 講演募集要項：
 - (1) 講演申込みの際には、次の事項を記載して下さい。
 - ① 講演題目、② 著者名（連名の場合には登壇者に○印をつける）ならびに職名及び連絡先住所、③ 刷り予定ページ数、④ 論文要旨（800字程度）
 - (2) 同一内容の講演を一緒に2つ以上申込みことおよび同一著者が重複して登壇するものは受けません。
 - (3) 原稿1編の長さは原則として5ページ以内（350字詰原稿用紙30枚以内（図、表、写真を含む））と致します。
 - (4) 原稿の内容により5ページ以内に収録することが困難な場合は著者に実費（超過1ページにつき7500円）を負担していただきます。
 - (5) 講演の採否については、海岸工学委員会にご一任下さい。

第10回衛生工学研究討論会のお知らせ

本年度の衛生工学研究討論会は土木学会講堂にて1974年1月28日より30日の間に行なう予定ですので関心のある方はご準備下さい。

本年は『水の高度浄化』に関するセミナーと自由題目の2種類の論文を募集いたします。水の高度浄化に関するセミナーは技術（ハードウェア）と考え方（ソフトウェア）を中心とする2つのグループに分けて行なう予定です。セミナーを対象に応募された論文でも組合せの都合上自由題目の部で発表をお願いすることもありますのでご了承下さい。

原稿締切は9月15日とし、原稿は本会所定のオフセット用原稿用紙6ページといたします（ページ数を厳守のこと）ので必要な方はお申出下さい。

TRANSACTION OF JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS 頒布について

土木学会では、わが国の土木技術・学術の研究内容を広く海外へ紹介する目的で標記の図書を毎年刊

行しております。

本書には、土木学会論文報告集掲載論文の内容が図表を用いてわかりやすく記述されておりますので、海外との学術・技術交流の一環として広くご利用下さるようおすすめいたします。現在までに下記の6冊が刊行されておりますのでご案内致します。

- Vol. 1, Part 1, Part 2 (1970 年版)
- Vol. 2, Part 1, Part 2 (1971 年版)
- Vol. 3, Part 1, Part 2 (1972 年版)
- 体 裁：本文B5判8ポ2段組 110~200 ページ
- 定 価：各冊とも 1500 円 (送料 140 円)
- 申 込 先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会

第9回 水工学に関する夏期研修会

▶ 7月25日(水)~8月2日(木) ◀

第9回水工学に関する夏期研修会を下記により開催いたしますのでふるってご参加下さいませようご案内いたします。

1. 開催期日：1973年7月25日(水)~8月2日(木)
2. 会 場：大阪大学工学部図書分館視聴覚ホール (冷房完備)
(吹田市山田上 Tel. 068-78-5111 阪急・千里線終点北千里下車徒歩 15 分)
3. 対 象：大学卒業程度
4. 題目・講師および日程：(題目は多少変更することがあります)

Aコース：7月25日(水)~7月28日(土)		
7月25日(水)	9:00~9:30 受 付	
	9:30~12:00 水資源計画方法論	大阪大学教授 室田 明
	13:30~16:30 水管理と環境	京都大学教授 岩佐 義明
7月26日(木)	9:00~12:00 水量制御と貯水池操作	京都大学教授 石原 安雄
	13:30~16:30 流域の変遷と河川の反応	東京大学教授 高橋 篤
7月27日(金)	9:00~12:00 最近の河川改修の動向—淀川を例として—	建設省近畿地建淀川工事事務所長 長尾 精
	13:30~16:30 都市河川の諸問題—寝屋川水系を中心として—	大阪府土木部都市河川課長 那智 俊雄
7月28日(土)	9:00~12:00 降水と流域斜面の安定	神戸大学教授 田中 茂
	13:30~16:00 (特別講義)	東京工業大学教授 吉川 秀夫
Bコース：7月31日(月)~8月2日(木)		
7月30日(月)	9:00~9:30 受 付	
	9:30~12:00 沿岸海洋の諸問題 (仮題)	京都大学教授 国司 秀明
	13:30~16:30 砕波特論	大阪大学教授 植木 亨
7月31日(火)	9:00~12:00 海岸土砂収支と海浜変形	京都大学教授 土屋 義人
	13:30~15:00 海岸浸食対策	建設省土木研究所河川部長 豊島 修
	15:00~16:30 港湾構造物の設計の自動化	運輸省港湾技術研究所設計基準課長 中山 福清
8月1日(水)	9:00~12:00 海岸堤防の水理	徳島大学教授 三井 宏
	13:30~15:00 構造物の流体力弾性応答	大阪大学教授 小松 定夫
	15:00~16:30 船体振動と付加質量	大阪大学教授 松浦 義一
8月2日(木)	9:00~12:00 海中構脚の諸問題	本四連絡橋公団神戸調査事務所長 相良 正次
	13:30~16:00 (特別講義) 波の制御に関する諸問題	京都大学教授 岩垣 雄一
5. 定 員：Aコース 100名・Bコース 100名
6. 参 加 費：1コースにつき8000円(テキスト代を含みます)
7. 申 込 方 法：受講希望者は、① 氏名、② 勤務先および職名、③ 連絡先住所、④ コース名を明記のうえ参加費(現金書留)を添えてお申込み下さい。
8. 申 込 先：社団法人土木学会事業課(郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 電話 東京(03) 351-5138)
9. 申 込 期 限：7月7日(土)

第4回 岩の力学国内シンポジウム講演募集

<主催：土木学会・日本鉱業会・日本材料学会・土質工学会>

1964年に第1回岩の力学国内シンポジウムが東京で開催されてより、その第2回が同じく東京で、

また、その第3回が1970年に京都でそれぞれ行なわれ、そして本年その第4回目が下記のように東京で開催されることになりました。この間、国際的には、1966年にリスボンで第1回、1970年にベオグラードで第2回国際岩の力学会議が開かれ、また、1974年には、デンバーでその第3回会議が開かれる予定であるなど岩の力学分野の調査研究は国の内外を問わずますます活発となっております。

この時に当たり、次のように第4回国内シンポジウムを催し、わが国岩の力学の分野における研究者、技術者の交流ならびに研費、情報交換の場といたしたく存じます。

つきましてはこのシンポジウムの成果を高めるため各位にはふるってご応募くださるようご案内いたします。

記

1. 期 日：1973年11月27(火)、28(水)(2日間)
2. 会 場：ニッショーホール(東京都港区芝西久保明舟町18番地 Tel. 03-580-7052)
3. 講演申込締切：1973年6月30日(土)正午
4. シンポジウムの形式と応募論文の取扱い：本シンポジウムでは自由論文のほか推薦論文の発表を行なう。本会告による応募論文は自由論文として扱う。その講演時間は応募論文数により1題当たり15分程度となることもありうる。
5. 発表論文の募集要項：
 - (1) 発表論文の内容：岩の力学に関するもの(発表論文は最近の研究に属する未発表のものが望ましいが、一部既発表のものを含んでさしつかえない)。
 - (2) 応募方法：(a) 論文発表希望者は6月30日(土)までに所属学会、氏名、勤務先、連絡先を明記のうえ邦文400字以内の梗概を所属学会または幹事学会(土質工学会；〒105 東京都港区西新橋1丁目13番5号 東亜別館 Tel. 03-502-6256~8)に提出すること。
(b) シンポジウム運営委員会は発表論文の採否を決定し応募者に通知する。
(c) 採択された論文の著者は8月31日(金)までに次の体裁を整えた原稿を所属学会または幹事学会に提出すること。
 - (3) 発表論文の体裁：
 - (a) 用語は邦文とする。
 - (b) 著者は送付された所定の原稿用紙5枚(図、表、写真を含む)にタイプする。また、別のタイプ用紙1枚に英文タイプによる要旨を添付すること。
 - (c) タイプの要領などは執筆者に送付する執筆要項によること。
 - (4) 予稿集：(a) 発表論文は前刷としてオフセット印刷する。
(b) 著者には論文1題につき別刷50部を贈呈する。ただし50部以上の増刷は原則として行なわない。

「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集

(第20回 橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。なお、今回は昨年のようなパネル討論会のほか、一般報告も企画してみたいと考えております。

記

1. 期 日：1973年11月13日(火)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
4. テーマの内容：

近年、有限要素法の応用、電子計算機の効果的利用などともなっており、構造解析は一段と高度化、精緻化してきた。他面、そのような解析結果の設計への反映、実構造物の挙動との関連などの点においては、問題が多く残されており、反省すべき点も少なからず存在すると考えられる。このような観点から、設計のための解析という見地に立って、次の4つのサブテーマに適合する研究発表を対象とする。

- (1) 解析方法または解析計算の評価
 - a) 数値解析におけるモデル化の妥当性、精度の評価、あるいはどのような条件において有限要素法、マトリクス解析、差分法などがその長所を発揮するのか、というような問題。
 - b) 設計に反映されうるような実験解析手法とそれに関連した問題。
 - c) 構造、材料の非線形解析あるいは立体解析を行なった場合、設計条件あるいは設計結果との関連。
 - d) 自動設計あるいは Computer-aided Design なる手法が近年開発されつつあるが、それが設計に反映される場合の問題。
- (2) 実際構造物の挙動と解析仮定の評価
 実際構造物の挙動の実測あるいは調査の結果から、解析の仮定あるいは解析計算の精度などを論じたもの。
- (3) 異種構造要素間の相関性解析の評価
 - a) 上部構造と下部構造または基礎との相関
 上部構造の解析は独立して扱われることも多いが、それを支持する下部・基礎構造の影響を解析に考慮した場合、設計の結果にどのように反映されるか。
 - b) 異種構造要素間の相互作用の設計への影響
 たとえば橋梁では主部材と二次部材との相関、あるいは建築ではコア、骨組み、スラブ間の変形適合性にもとづく相互作用を考慮した解析を行なう場合、おのおの独立に扱った場合にくらべて設計にどのような差異を生じるか、あるいはどのような影響を互いに及ぼし合うか。
- (4) 二次的効果の設計解析における評価
 いわゆる二次応力の役割、有限変形の影響などは構造物の大型化、複雑化、複合化にともなって設計上重要な影響をもたらす場合がある。これらの影響に関連した諸問題を扱う。

5. 申 込 要 領:

- 1) 7月末までに論文題目、発表者氏名(連名の場合、登壇者に○印を付ける)、勤務先および連絡先と、100字程度の内容梗概を添えて、所属学会宛お申込み下さい。
- 2) 採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうへは、9月20日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。
- 3) 発表された研究はさらに選考のうへ、欧文論文集として刊行すべく、論文原稿の執筆をお願いすることがあります。

第21回 レオロジー討論会講演募集

<講演申込締切; 6月30日(土)>

- | | |
|-------------|--|
| 主 | 催: 日本レオロジー学会 |
| 共 | 催: 土木学会, ほか 13 学協会 |
| 1. 期 | 日: 1973年10月23日(火), 24日(水), 25日(木) |
| 2. 会 | 場: 京都会館別館ホール(京都市左京区岡崎公園) |
| 3. 主 | 題: 高分子の流動特性とその工業への応用
土木工学におけるレオロジー, レオロジー一般 |
| 4. 申 込 要 領: | 講演題目, 研究者氏名(連名の場合は講演者に○印), 勤務先, 連絡先, 概要説明(400字以内), スライド使用の有無を記入して申込むこと。ただし1件あたり講演20分, 討論10分を予定しています。 |
| 5. 講演申込締切: | 1973年6月30日(土) |
| 6. 講演要旨締切: | 1973年8月11日(土)
あらかじめ要旨集を送付したいので期日を厳守して下さい。要領は講演採択後通知します(講演の採否, プログラムの編成その他は世話人にご一任下さい)。 |
| 7. 講演申込先: | 〒606 京都市左京区吉田泉殿町1の101 (Tel. 761-5321)
日本レオロジー学会討論会係 宛 |

第17回 材料研究連合講演会講演募集

＜講演申込締切！6月5日（火）＞

- 主 催：日本学術会議材料研究連絡委員会
 共 催：土木学会、ほか 25 学・協会
 幹事学会：土木学会・高分子学会・電気学会・日本化学会・日本機械学会・日本建築学会・日本材料学会
1. 開催日：1973 年 9 月 4 日（火）、5 日（水）
 2. 会 場：日本学術会議（東京都港区六本木 7-22-34）
 3. 講演申込：1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み、参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込みすること。
 2. 講演内容は最近の研究に属するものが望ましいが、すでに発表されものでもさしつかえない。
 なお、研究内容は材料の諸物性、諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。
 なお、今回も後記主題によるシンポジウムをも開催するので多数のご参加を期待する。
 3. 講演時間は約 20 分（討論を含む）の予定。
 4. 講演の採択などは材料研究連合講演会運営委員会に一任されたい。
 5. 申込用紙は B5 版とし、次の事項を必ず記載すること。
 a) 講演題目、b) 梗概約 200 字、c) 講演部門名（下記講演部門参照のこと）、d) 講演者ならびに連名者の各氏名、勤務先、通信先、学会員資格、年齢（連名の場合は登壇者に○印をつけること）、e) 講演題目、氏名、勤務先には英文を付記すること、f) スライド使用の有無（大きさは 35 mm）、g) 欧文論文集（付記参照）へ投稿希望の有無
 6. なお講演者には前刷集を従来は無料で差し上げておりましたが、今回からは若干のご負担をいただくことになりました。
 4. 申込締切：1973 年 6 月 5 日（火）
 5. 講演前刷：参加者のテキストとし、あわせて講演時間の短縮、掛図などの節約のため講演者全部の講演前刷を作るので、講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ（参加学会会員外は、申込んだ幹事学会へ）提出すること。
 a) 講演前刷原稿提出締切期日 7 月 5 日（木）
 b) 前刷原稿は所定の原稿用紙 2 枚以内に（図、表、写真を含めて報文で約 2 600 字）明りょうに墨書しなるべく余白をさけるように留意のこと。
 c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り所定用紙以外に書いた原稿は受け付けない。
 6. 講演部門：I. 微視的構造 (Micro Structure of Materials)
 II. 材料の力学的性質と挙動 (Mechanical Properties and Behavior of Materials)
 III. 材料の物理的性質 (Physical Properties of Materials)
 IV. 材料の化学的性質 (Chemical Properties of Materials)
 V. 構造物強度 (Strength of Structures)
 VI. 材料の加工と処理 (Working and Processing of Materials)
 VII. その他 (Special Problems)

＜シンポジウム＞

下記主題によりシンポジウムを開催いたしますので多くの方々の講演を募集します。

主題 「材料の接合」

産業の各分野において、今日おびただしい種類の材料が使用されている。

この背景には材料科学ならびに技術のめざましい発展がある。その中において各種の材料の接合をどのように解決するかは常に大きな課題であり、理論的にも、技術的にも広範な研究が行なわれて来た。またこれに基づいて幾多のめざましい技術革新が起こっている。多くの分野において行なわれているこれらの研究を一括して、その成果の一層の交流と発展を期すべく本シンポジウムが企画されている。

たとえば、(1) 溶接・圧接・接着・融接等の各種の接合技術、(2) 接合部の化学的・物理的・電気的ならびに力学的諸性質、(3) 接合部の性能とその信頼性の評価に関する考え方と技術等について有意義な講演と討論を期待している。

(註) 本シンポジウムの講演申込みについては、講演部門欄にシンポジウムと明記し、他の申込要領、原稿作成等については一般講演と同様である。

[付記]

1. 発表論文は Proceedings of the 17th Japan Congress on Materials Research に載せ、諸外国に領布の予定である。
2. 本論文集に掲載される論文は今回発表されたもので、欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる所定原稿用紙に執筆し、講演会当日までに日本材料学会気付 材料研究連合講演会論文集刊行会（〒606 京都市左京区吉田泉殿町1の101 Tel. (075) 761-5321）に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また、不備な原稿は返却することがある。
なお、原稿は当日、会場でも受け取る。

第23回応用力学連合講演会講演募集

＜申込締切 7月20日・開催 10月30,31日＞（開催地：東京）

- 主 催：日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・土木学会・*日本機械学会・日本建築学会・*日本鉱業会・日本航空宇宙学会・日本数学会・日本造船学会・*日本物理学会（*印は幹事学会）
1. 開催要領：本講演会を活発にするために、次の要領により開催します。
 - 1) テーマ別のシンポジウムとこれに関連した研究論文の発表
 - 2) テーマにかかわらず研究論文の発表
 テーマ別のシンポジウムにおける特別講演は、運営委員会が幾人かの方々をお願いします。これとは別に、1), 2) の研究論文の発表を広く募集しますから、ふるって応募してください。今年のテーマは次のとおりです。
 2. テマ：A) 流体力学における新しい数値的、実験的手法、B) 構造力学における動的問題、C) 信頼性工学における力学的諸問題（統計、熱、事故解析、防災も含む）、D) 生体力学
 3. 日 時：1973年 10月30日（火）、31日（水）
 4. 会 場：日本学術会議（東京都港区六本木 7-22-34）
 5. 申込期日：1973年 7月20日（金）所属学会必着
 6. 申込要領：講演申込みは、所属学会を通じて行ない、参加学会会員以外の方は、直接幹事学会へ申込みこと。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込方法は下記要領で行なうこと。
 - a) 講演申込希望者は、まずはがきに「第23回応用力学連合講演会講演申込用紙・原稿用紙請求」と題記、①通信先、②所属学会名および会員資格、③氏名を明記のうえ所属学会あて請求してください。
 - b) 上記正式講演申込用紙に改めてご記入、講演申込締切期日までに所属学会へ着信するよう折返しご提出ください。上記 a) のはがきによる請求だけでは講演申込受付にはなりません。ご注意ください。
 - c) 講演部門の分類：テーマに関連した論文は上記の A) B) C) D) のテーマの分類を用い、テーマによらないものは E) とする。
 - d) 運営委員会において、都合により希望の講演部門を変更することもある。
 7. 前刷原稿：所属学会より送付する所定の前刷原稿用紙を用い、2枚の概要を 1973年 8月24日（金）までに幹事学会（日本機械学会）へ送付のこと。
 8. Proceedings：従来どおり欧文論文集は、日本学術会議力学研究連絡委員会欧文論文集刊行会によって発行される予定。その詳細については講演者あて追って連絡します。

第2回岩の力学講演会前刷集出版物頒布のご案内

1973年2月16日に関連4学会（土質工学会、土木学会、日本材料学会、日本鉱業会）共催により開催された第2回岩の力学講演会の前刷集を下記により頒布しておりますので、ご希望の方はご購入下

さい。

記

体 裁：A 4 判オフセット印刷，130 ページ

定 価：2000 円（送料 140 円）

目 次：

テ ー マ：現場における岩盤計測と設計・施工への応用

- (1) 岩盤調査の結果が施工にどのように生かされるか 国鉄鉄道技術研究所 池田和彦
- (2) 鉱山における岩盤計測の実例 通産省公害資源研究所 高多 明
- (3) 近接爆破に対する空洞の安全性の検討と設計・施工への応用 京都大学工学部 伊藤一郎・佐々宏一
- (4) ダム基礎における岩盤計測とその設計・施工への応用 東京電力高瀬川水力建設本部 藤井敏夫
- (5) 橋梁基礎における岩盤調査の実施例——海底岩盤調査へのアプローチ—— 木州四国連絡橋公団 吉田 巖
- (6) 地下発電所における岩盤計測とその設計・施工への応用 電力中央研究所 日比野敏

購入申込先：〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会刊行物頒布係（電話 03-351-5138）

「土木学会誌」広告料金について

土木学会誌は大正 4 年 2 月（1915 年 2 月）に第 1 巻第 1 号を発行して以来，本年度で 58 年目を迎えました。この間，学会の看板として多くの会員に親しまれ，内容の充実，会員数の増加に伴う発行部数の飛躍的増加となって，土木技術の進展とともに成長して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。学会誌の広告料金は現在下記のとおりですので貴社の広報活動の一つとしてぜひご利用下さるようご案内いたします。

土木学会誌 1 ページあたり広告料金（単位ページ・円）

	表紙 2	表紙 3	表紙 4	後 付	色 紙	綴 込 (持込み)
料 金	70 000	60 000	80 000	50 000	60 000	60 000

* 1/2 ページの場合は半額とする。

東北支部行事案内（郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル 3 階）
電 0222-22-8509

昭和 48 年度東北支部総会

▶ 6 月 7 日（木）◀

- 1. 日 時：1973 年 6 月 7 日（木）17.00～
- 2. 場 所：セントラルホテル 8 階（仙台市青葉通）
- 3. 議 題：1) 昭和 47 年度事業報告および決算報告 3) 役員改選の報告
2) 昭和 48 年度事業計画および予算の報告 4) その他
- 4. 映 画：題（未定）

◎ 6 月 1 日の予定が 6 月 7 日（木）に変更になりましたのでご注意ください。この会告をもって総会開催の通知といたします。なお総会后 18.10 より懇親会を催します（会費 1000 円）。準備の都合がありますから，総会ならびに懇親会に参加の方は 5 月 29 日までにお知らせ下さい。

中部支部行事案内（郵便番号 460 名古屋市中区栄 2 丁目 17 番 22 号）
科学館内 中部科学技術センター内電 052-231-3043

(1) 昭和 48 年度第 1 回見学会

▶ 6 月 25 日（月）◀

- 1. 日 時：1973 年 6 月 25 日（月） 9:00
- 2. 集 合 場 所：名古屋テレビ塔北観光バス発着場

3. 見 学 先：天竜市 船明発電所（ダム）
4. 行 程：9.00 テレビ塔下出発（バス）→ 名古屋 I.C → 浜松 I.C → 11.40 電源開発（株）船明建設
所着：昼食、概況説明 → 13.00 船明ダム建設現場見学 14.00 → 浜松 I.C → 名古屋 I.C →
16.30 テレビ塔下着（解散）
5. 会 費：300 円
6. 定 員：50 名
7. 申 込 先：土木学会中部支部へ会費を添え 6 月 20 日（水）までにお申込みください。
[注] 納入後の会費の払い戻しはいたしませんので御了承願います。

（2）事務局変更のお知らせ

4 月 26 日より事務局を下記に変更いたしましたのでよろしくお願いたします。

記

〒460 名古屋市中区栄 2 丁目 17-22 名古屋科学館内
財団法人 中部科学技術センター内 TEL (052) 231-3043

関西支部行事案内（郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地 船場センタービル 4 号館）
409 号 電 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番

破壊力学とその応用に関する講習会

▶ 6 月 21 日（木）～22 日（金）◀

主催：日本材料学会関西支部 共催：土木学会関西支部、ほか 10 学協会

1. 期 日：1973 年 6 月 21 日（木）、22 日（金）
2. 会 場：大阪科学技術センター 4 階 401 号室 電話大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150 m 靱公園北東角
3. 題目と講師：

第 1 日（6 月 21 日）			
9.30～11.00	① 破壊力学概論	大阪大学工学部	大 路 清 嗣
11.10～12.40	② 線型破壊力学	九州大学工学部	西 谷 弘 信
13.30～15.10	③ 応力拡大係数の解析法とその資料	航空宇宙技術研究所	石 田 誠
15.20～16.40	④ 破壊靱性とその試験方法	横浜国立大学工学部	小 倉 信 和
第 2 日（6 月 22 日）			
9.20～10.40	⑤ 耐脆性破壊設計への応用	東京大学工学部	金 沢 武
10.50～12.10	⑥ 疲労強度への応用	日立製作所機械研究所	鯉 淵 興 二
		"	日 置 進
13.00～14.10	⑦ 環境脆化問題への応用	神戸製鋼所中央研究所	藤 田 達
14.20～15.50	⑧ 延性破壊、クリーブ破壊の破壊力学	大阪大学工学部	小 倉 敬 二
16.00～17.20	⑨ フラクトグラフィと破壊力学	大阪大学基礎工学部	小寺沢 良 一
4. 定 員：100 名
5. 参加会費：主催共催学協会 会員 10 000 円、学生会員 4 000 円
非会員 15 000 円（いずれもテキスト 1 部代を含む）
6. 申込期限：1973 年 6 月 9 日（土）
7. 申込方法：参加希望者は、勤務先・所在地・氏名・会員種別（所属学協会名）を明記し、参加費を添えて（現金書留利用）次へお申し込みください。
申 込 先：日本材料学会関西支部 電話大阪 (06) 441-5531 番
（郵便番号 550）大阪市西区靱 1 丁目 大阪科学技術センター 6 階

（付）テキスト頒布について

構造工学—長大橋梁の諸問題—	頒価 2 200 円	送料 130 円
講習会「施工計画・管理の基礎」資料	" 700 円	" 105 円（残部僅少）
水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題	" 1 800 円	" 130 円（残部僅少）
騒音振動公害—測定と評価の問題点とその動向—	" 1 500 円	" 130 円
都市廃棄物の処理と処分	" 1 000 円	" 100 円（残部僅少）
工程管理（講演問題解答付）	" 1 800 円	" 160 円（残部僅少）
公害振動測定法（案）	" 無 料	" 60 円

昭和 46 年度関西支部年次学術講演概要	正会員	頒価	200 円	送料	160 円 (残部僅少)
	学生会員	"	100 円	"	160 円 (残部僅少)
	非会員	"	700 円	"	160 円 (残部僅少)
昭和 47 年度関西支部年次学術講演概要	正会員	"	500 円	"	160 円 (残部僅少)
	学生会員	"	300 円	"	160 円 (残部僅少)
	非会員	"	800 円	"	160 円 (残部僅少)
土木工事における土中水の扱い方	"	"	900 円	"	130 円
工事の安全対策	"	"	600 円	"	130 円
近畿開発と大型土木プロジェクト	"	"	350 円	"	100 円

次のテキスト 12 点は昭和 48 年 12 月 31 日以降廃棄処分の見込みです。

写真測量とその応用 " 700 円 " 130 円

シールド工法 (地下鉄シールドの問題点
研究会資料 (シールド工事施工上の問題点 の2点1組) " 100 円 " 90 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号・自治会館内)
電話 0822-21-2666

昭和 48 年度中国四国支部総会・特別講演会・第 25 回学術講演会

1. 日 時: 1973 年 5 月 24 日 (木)
9.00~12.00 学術講演会
13.00~13.30 支部総会
14.00~ 特別講演会
1973 年 5 月 25 日 (金)
学術講演会
見学会

2. 会 場: 島根県民会館 松江市殿町 163
(電 0852-22-5522)
国鉄松江駅より、バス松江温泉行 (市営・一畑)、大学川津行 (市営)、本庄または美保の関行 (一畑) にて県民会館前下車

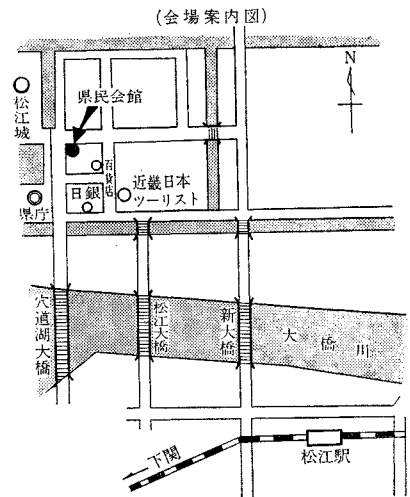
3. 講演会: 聴講無料・来聴歓迎
4. 見学会参加費: 500 円 (定員 50 名・申込先着順・定員になり次第締切ります)
5. 見学コース: 松江 (会場前)~島根原子力発電所~出雲大社~日御崎~出雲駅前~松江駅前 帰着 (17.30 頃の予定)

6. 見学会申込方法: 希望者は氏名・連絡先を明記のうえ、会費をそえて (現金書留) 下記へお申込み下さい。
申込期限 5 月 15 日
土木学会中国四国支部 〒730 広島市基町 10 番 3 号 自治会館内
電 0822-21-2666 (月水金 3 時まで)

7. 特別講演会プログラム (入場無料)

- わが国河川の諸問題 京都大学名誉教授 石原 藤次郎
○47 年豪雨災害について 島根県土木部長 武下 一郎
○出雲の古代 大社国学館講師 加藤 義成

8. 第 25 回年次学術講演会プログラム: 講演学会誌 48 年 4 月号 154~156 ページ参照 (入場無料, なお講演概要集は当日会場にて実費販売いたします)



橋

BRIDGES IN JAPAN 1971 - 1972

体裁：A4判・一部カラー刷・特上クロス装豪華本
 定価：1800円（〒170円）
 申込先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会刊行物頒布係
 TEL 03 (351) 4132 振替東京16828

<書店にても販売しておりますので、ご利用下さい>

- 内容**
- 鋼橋架設のいろいろ
 - 吉井川橋梁—山陽新幹線〔日本国有鉄道・八千代エンジニアリング(株)、大成建設(株)〕
 - 京浜大橋〔東京都港湾局、パシフィックコンサルタンツ(株)、石川島播磨重工業(株)〕
 - 鋼橋 1971年(昭和46年度)の展望
 - 柳津橋〔福島県、日本鋼管(株)〕
 - 阿蘇大橋〔熊本県、日本建設コンサルタント(株)、石川島播磨重工業(株)〕
 - 中央橋〔北海道、北海道開発コンサルタント(株)、(株)栗本鉄工所〕
 - 高根大橋〔広島県、(株)新日本技術コンサルタント、川崎重工業(株)〕
 - 上吉野川橋〔水資源開発公団、(株)長大橋設計センター、(株)横河橋梁製作所、横河工事(株)、(株)宮地鉄工所、宮地建設工業(株)〕
 - 山陽新幹線新神戸駅—生田川橋梁〔日本国有鉄道、日本交通技術(株)、川崎重工業(株)、(株)横河橋梁製作所、石川島播磨重工業(株)、(株)奥村組、横河工事(株)〕
 - 日高大橋〔北海道開発局、北海道開発コンサルタント(株)、函館ドック(株)〕
 - 馬桑橋〔建設省中国地方建設局、(株)橋梁設計事務所、住友重機械工業(株)〕
 - 河口湖大橋〔山梨県、(株)横河橋梁製作所、(株)宮地鉄工所〕
 - 木津川橋〔建設省近畿地方建設局、阪神高速道路公団、橋梁コンサルタント(株)、(株)栗本鉄工所、高田機工(株)〕
 - 首都高速道路(第357工区)および国道三軒茶屋立体交差橋〔首都高速道路公団、(株)オリエンタルコンサルタンツ、三菱重工業(株)、(株)横河橋梁製作所、川田工業(株)〕
 - 山陽新幹線大阪市内高架橋〔日本国有鉄道、設計施工会社多数〕
 - 鈴鹿川橋梁〔日本鉄道建設公団、日本交通技術(株)、(株)横河橋梁製作所、石川島播磨重工業(株)、横河工事(株)、汽車製造(株)〕
 - 菊水歩道橋〔北海道、北海道開発コンサルタント(株)、(株)鋼路製作所〕
 - コンクリート橋 1971年(昭和46年度)の展望
 - 芳見橋〔富山県、大日本コンサルタント(株)、佐藤工業(株)〕
 - 真崎大橋〔建設省東北地方建設局、大日本コンサルタント(株)、新構造技術(株)、ピー・エス・コンクリート(株)〕
 - 大淀大橋〔宮崎県、新構造技術(株)、ピー・エス・コンクリート(株)〕
 - 西金大橋〔茨城県、新構造技術(株)、住友建設(株)、戸田建設(株)〕
 - 釜屋橋〔兵庫県、(株)オリエンタルコンサルタンツ、九州鋼弦コンクリート(株)、株本建設工業(株)〕
 - 旭川橋梁〔日本国有鉄道、八千代エンジニアリング(株)、鹿島建設(株)〕
 - 別府川橋梁〔日本国有鉄道、(株)福山コンサルタント、(株)今西組〕
 - 1971年(昭和46年)竣工主要橋梁一覽
 - 橋梁の大ブロック架設工法
 - 昭和46年度・土木学会田中賞選考経過

既刊紹介 残部僅少のためお早目にお申込み下さい。体裁はいずれもA4判・一部カラー刷・特上クロス装豪華本。
 内容は各年度の「土木学会田中賞」授賞作品・授賞論文・応募作品等。

橋 1967-1968
1500円
主要内容
●本州四国連絡橋技術調査報告書の概要
●受賞作品紹介：福島第1高架橋/名護屋大橋
●受賞論文紹介：伊藤 学

橋 1968-1969
1600円
主要内容
●東名高速道路の橋梁一計画・設計・施工の概要
●受賞作品紹介：尾道大橋/浜名湖橋/第3綾瀬高架橋
●受賞論文紹介：小西一郎、山田善一、高岡宣善

橋 1969-1970
1600円
主要内容
●都市内高速道路
●受賞作品紹介：オークランドハーバー橋/首都高速両国大橋/阪神高速大和川大橋
●受賞論文紹介：伊藤文人/後藤茂夫

橋 1970-1971
1700円
主要内容
●横断歩道橋
●受賞作品紹介：神戸大橋/加古川橋梁/富士川水管橋
●橋梁建設における省力化